

口は健康のもと Vol.68

骨粗鬆症の人 治療前に相談を

骨粗鬆（こつそしょう）症は加齢に伴って増えますが、治療薬としてはビスホスホネート系薬剤が最も効果的といわれています。

しかし、この優れた治療薬にも重大な副作用があり、米国では5年前からビスホスホネート系薬剤を服用している骨粗鬆症患者に顎骨骨髄炎が起こることが報告されています。

もちろん、ビスホスホネート系薬剤を服用しているだけで顎骨骨髄炎がおこるわけではなく、大部分は抜歯後やお口の清掃が不十分な場合におきます。

これは口の中の細菌が顎骨に感染して病原性を発揮する際に、ビスホスホネート系薬剤を服用していると、細菌の病原性が増しやすいためと考えられています。

残念ながら、この副作用を完全に防止する方法は未だ確立されていません。しかし、口の中の細菌が歯や入れ歯にたくさん付着していると骨髄炎が起こることから、この薬の服用者は口腔清掃を徹底する必要があります。また骨粗鬆症の方が歯科治療を受ける場合は事前に担当の医師に相談することがとても大切です。



奥羽大学歯学部 口腔細菌学
教授 清 浦 有 祐